

週足



長期概況

2021/1/6の安値102.59円を起点とした上昇トレンドが継続中。FRBが3月のFOMCで市場予想通り25bpの利上げ、続く5月の会合において、50bpの利上げを実施。さらに、6月には1994年以来の利上げ幅となる0.75%の利上げを決定し、7月、9月と、3会合連続で0.75%の利上げを実施しました。その後、9/22に約24年ぶりとなる政府・日銀による円買い介入が実施され、10/21、10/24に追加で円買い介入が行われたことで一時的にドル売りが強まりました。その後、10月の米インフレ指標(CPI、PPI)が弱含みとなり、インフレがピークアウトしたとの観測から今後のFRBによる金利引き上げペースの減速が予想され、137.66円まで急落しました。

【2022/11/14~11/18】

11月10日に発表された米10月CPIが市場予想を下回ったことをきっかけとし、米10年債利回り大幅に低下したことに伴い、ドル全面安となり、146円台の水準から11月11日には安値138.46円へ暴落しました。その後15日に発表された米10月PPIも、市場予想を下回ったことで137.66円まで安値を切り下げました。しかし、米FRB高官らの利上げに関してタカ派的な発言が相次いだことで、140.74円まで持ち直す展開となっています。ただし、11/14高値148.80円が目先レジスタンスとして意識されると139.63円まで下落する上値の重い展開となりました。

このレポートは投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであって、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資方針や投資時期等の最終決定は、お客様ご自身の判断と責任で行ってください。また、このレポートは信頼できるとされる各種データに基づき情報を提供しておりますが、正確性、妥当性等を保証するものではなく、この情報により発生したいかなる損害についても当社は一切の責任を負いかねます。なお、このレポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがあります。

日足



今週の戦略

日足ボリンジャーバンドは、中心線が下向きとなっておりますが、+2σが収斂しており、一旦は下げ止まりを示唆しています。なお、週足・月足ともにボリンジャーバンドは、中心線が上向きで上昇を示唆しています。以上のことから、今週の予想レンジと注目レートは以下の通りです。

◆予想レンジ 138.62円～142.48円

注目レート		テクニカル
上値②	142.48	・11/11高値
上値①	141.03	・10/21高値151.94から11/11安値138.46の フィボナッチ23.6%戻し近辺
下値①	139.63	・11/18安値近辺
下値②	138.62	・週足ボリンジャーバンド -1σ近辺 ・8/2安値130.40から10/21高値151.94のフィボナッチ61.8%押し

このレポートは投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであって、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資方針や投資時期等の最終決定は、お客様ご自身の判断と責任で行ってください。また、このレポートは信頼できるとされる各種データに基づき情報を提供しておりますが、正確性、妥当性等を保証するものではなく、この情報により発生したいかなる損害についても当社は一切の責任を負いかねます。なお、このレポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがあります。